

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)	良く なっている	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・他地域や他業種の方々には申し訳ないが、北陸新幹線の効果で金沢地区の飲食業界はにぎわっている。金沢でも駅周辺はにぎやかだが、古くからの繁華街は比較的静かだ。これは、新幹線の客が個人や家族連れが中心で、いわゆる「飲み屋」へは足を運ばないためだと思う。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・対前年比で総売上98%、宿泊人員107%、宿泊単価99%であった。宿泊単価低下及び個人客、企画募集が低調であったが、高単価棟の3フロアが改装工事中というのが理由で、実際はフル稼働である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・3月14日に北陸新幹線が開業し、週末はもちろんのこと平日でも人出があり、忙しくなった。駅での乗車回数は、平日で2割アップ、週末で5割アップである。観光スポットやビジネスなど、夜の街も人出が増えた。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・学生向けの販売が全体数をけん引しているが、複数台購入特典の効果もあり、家族複数台での購入が非常に目立つ。
やや良く なっている		一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・業界の需要期と北陸新幹線特需が重なり、市場に活気がある。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・3月の当店の売行きは好調であった。イベントの内容が良かったのか、景気が良くなったためなのかは判断がつかない。くもりになるのか晴れになるのかはわからないけれど、目の前のもやがなくなったような気がする。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・ケーブルテレビのデジアナ変換終了によるテレビの販売数量自体は、昨年の消費税増税前を上回る台数になっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・気温が上がり確実に客足は伸びているが、思うほどの売上に結びついていない。
		住関連専門店（店員）	来客数の動き	・3月の前半はある程度の来客数は確保できた。ただし、後半にかけては冬も終わり、移動需要の膨らむ時期ではあったが、週末にかけての来客数確保は伸び悩んでいる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕	単価の動き	・商品を求める動きはこれからだが、昨年春の消費税増税後から店頭の買上単価が伸び続けている。付加価値、機能性、安全、安心、健康といった商品がよく求められている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・来客数の伸びがそのまま販売量の伸長につながっている。特に春物衣料を中心に好調な滑り出しであり、昨年の消費税増税前の駆け込み需要を考慮しても本年の方が良い。ただし、大型消費財や宝飾は苦戦している。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・3月14日に北陸新幹線が開業したことにより、都心からの集客が微増している。料亭部門の影響は少ないが、鉄板焼き部門は高額な能登牛のオーダーが多く、客単価増に貢献している。
		一般レストラン（統括）	お客様の様子	・3月14日の北陸新幹線開業から、駅周辺の飲食店を中心に来客数がアップした。県外からの客、外国人の客、どちらも家族旅行が多く、1卓あたりの注文点数も増えている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・3月は中京や関西からの団体の昼食利用が多く、入込客数は1000人ほど前年を上回っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・北陸新幹線が3月14日に金沢まで開業した影響で宿泊は良くなっており、3月は前年に比べ40%増となった。新幹線利用は個人客が主で、バスや飛行機での旅行者も目に見えて増えている。インバウンドも引き続き好調である。
		都市型ホテル（役員）	販売量の動き	・宿泊部門に関して、Web予約が堅調に推移しているが、レストランおよび宴会部門は横ばい傾向である。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・数か月前に比べサービス契約獲得数は増加傾向にある。消費税増税から1年が経過し、またベースアップ実施企業が増える報道の中で、消費者マインドにも好転の兆しを感じる。

	通信会社（役員）	販売量の動き	・例年どおり、今月は商戦期でもあり、今年も契約数が増加している。競合している大手通信事業者の新サービスの影響がまだ出ていないこともあり、解約数も抑えられ、純増数が増えている。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年同月比でみると、3月は2～3か月前と比べプラスに推移している。大きな要因としては、団体客や海外からのインバウンド客が増加したことである。ただ、個人客の旅行は依然として前年同月比マイナスである。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・受注量は消費税増税後の反動減から回復基調にある。一昨年の水準まで戻ってきている。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・問い合わせ、展示会共に客の動きがよくなっており、今後の契約件数、契約額に期待もてる。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・北陸新幹線の開業効果も限定的で駅ナカでも優劣があり、中心商店街の物販に至ってはほとんど平常営業であった。今後も金沢のファッションマーケットはますます駅ナカ主導で展開していくのではないかと危惧している。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・卒業、入試なども一段落して、入学、進学、新社会人の季節であるが、新たな服を買うという動きが鈍いように感じられる。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・3月に北陸新幹線開業があり、観光客も増加したように思われる。当地区の飲食店では観光客が多く来店している店舗もある。一方、当商店街の組合員は物販が主体であるため、観光客増加の影響はほとんどなく、各店舗の売上状況は例年とほとんど変わらない状態である。
	一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・本場に必要なものしか購入せず、それほど必要でないものは全く購入しないため、販売数は伸びない。
	スーパー（店長）	単価の動き	・来店客の買物状況は、特に3月に入り、昨年の消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり、客単価が厳しい状況になっていると思われる。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・3月の売上は、昨年3月に消費税増税前の駆け込み需要があったため前年を下回っているが、生鮮食品部門はほぼ昨年並みの売上であるため、景気が悪いとは言えない。
	スーパー（統括）	来客数の動き	・今年の1～3月の客の来店状況はほぼ変わりがなく、特に大きな変化はみられない。しかし、3月は当地は北陸新幹線開業ということと、自社においても記念のイベントなどがあり客にアピールした分、来客数が増えている現状である。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温の上昇とともに、前月よりは数字がアップしているが、これはある程度季節変動そのままの数字であると思われる。前年同月比については3～4か月前から同じ数字が並んでいる。
	コンビニ（店舗管理）	お客様の様子	・来客数の下げ止まり感はあるものの、割引商品の売行き好調もあり、客単価が下がっている。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ガソリン価格の値下がりにより、消費税増税の影響が若干薄らいでいるように見えるが、物価は上がっている状態にある。客の行動を見ていると依然慎重である。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・北陸新幹線開業による直接的な売上アップは感じられないものの、それを契機としてリニューアルなどを行っているところが売れている。
	衣料品専門店（総括）	競争相手の様子	・北陸新幹線開業で恩恵を得ているのは宿泊とお土産が主で、衣料品業界には良い影響がない。むしろ東京が近くなり出ていくほうが多いのではないか。
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・北陸新幹線の開業で地元経済界にはぎわっている。しかし、前年の消費税増税前の駆け込み需要と比較してはいけないのだろうが、当業界は販売面でかなり遅れを取っている。4月以降はエコカー減税の対象も変わるもので、若干不安を感じる。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・3月は卒業や入学、引っ越しなどで物入りが多い時期であり、当店においてもお祝い品などが少しあったと思われる。しかし、必要なもの以外の購入はなく、財布のひもが固い状態が続いている。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・北陸新幹線開業により個人旅行は多少動いてきているが、商品の選別は相変わらずシビアである。収益的にはかえって厳しくなっている。

	タクシー運転手	販売量の動き	・北陸新幹線が開業して、それに関するイベントが多数開催された。
	通信会社（店舗統括）	お客様の様子	・ランニングコストによりシビアになってきている。客からの「2年後はどうなるか。3年後はどうなるか」といった質問が以前よりも増えてきている。
	その他レジャー施設（職員）	来客数の動き	・3月は例年より退会が多く出てきており、新入会が全く追いつかない状況である。
	美容室（経営者）	それ以外	・ひと月ごとに、売上が良くなったり悪くなったりで、景気がどうなっているかの判断が難しい。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3月は年度末で決算期とのこともあり、客もこの時期が最も価格的に有利と思っており、受注を伸ばすことができた。客の購入意欲は感じられるが、景気の上向き感がまだまだ弱く、きっかけ作りには苦労している。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・天候も良くなり、3月の北陸新幹線開業でもう少し客の動きに活気があるかと期待していたが、今のところは感じられない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・春を感じさせる日もあるが、相変わらず人出が少ない。映画やイベントで街に人出があっても、購買にまでは波及してこない。高額品も昨年より動き始めているが、ごく一部の話であり、圧倒的に買い控え傾向が強く、総じて景気は悪いと判断せざるをえない。
	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・北陸新幹線が開業したが、新幹線効果を受けているのは一部の地域で、街中までは波及していない。駅の方に客を取られ、さらに来客数が減少している気がする。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・昨年の3月は消費税増税前の駆け込み需要の影響で売上がかなり良かったということはあるが、今年は前年を2割程度下回っている状況である。食品関係については日々の消耗品なので10%程度の減少だが、ファッション関係については前年から25～30%近くダウンしているということで、非常に厳しい状況である。
	百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・北陸新幹線開業に伴い、他のデパートやスーパーのリニューアルオープンが相次ぐなか、当店では2店舗のみのリニューアルオープンで新鮮さに欠けるのか、客足が伸びていない状況である。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・3月14日に北陸新幹線が開業し、多くの来客でにぎわうが、観光と食事をメインに金沢に来る方が多く、商品は見ただけで悩まれる方がほとんどである。また、例年に比べフレッシュヤーズや贈答品需要が少なく、旅行用などトラベル関係の需要が高い傾向にある。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数に関しては前年比1割以上のダウンが続いている。また、客単価も微減が続いている状況である。常連客でも、これまでより来店回数が減っているような状況も見受けられる。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・2月は開業以来初の赤字になった。とは言っても1月の経費が2月にかかり、2月は売上日数が少ないため他店舗ではよくある状況だが、当店では開業以来初めての状況だった。その影響を3月も引き継ぎ、売上の減少に歯止めがかかっていない状況である。競合店が近くにできたわけではないが、全体のコンビニ店舗数の増加がじわりじわりと売上を下げている。出店も春から再び激化するものと思われ、下げ止まったかに見えた売上がまた下がるのではないかと不安になっている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・3月に入ってから受注が極端に少なくなった。例年の7割程度の量である。自動車関連税の駆け込み需要はあまりないようである。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・3月の販売量は前年同月比75%である。26年12月の販売量は前年同月比79%だったので、3か月前と比較してやや下向きである。前年は消費税増税前の駆け込み需要があったとはいえ、減少幅は依然大きいと考えられる。

	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・今月は例年と比べ天候が不安定なため、春タイヤの履き替え需要が遅れており、店頭キャンペーン、チラシ販促を投下したが客の反応が悪く、購入に対して慎重になっている。自動車販売は新卒者の購入客が増えており台数は伸びている。しかし、例年は軽自動車などの新車購入を考えている客が多い時期だが、今期は中古車で我慢して就職後に乗換えを考えている方が多い。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・気温も関連して、暖かい日は何となく人も動く感じだが、変わらず個人や小規模経営の人たちからは厳しい会話があり、大手のように給料を上げられないとか、地方は1年後かといった具合である。当店は前年同月と変わらなかった。
	悪くなっている	-	-
企業動向関連	良くなっている	-	-
(北陸)	やや良くなっている	繊維工業（経営者） 金融業（融資担当） 不動産業（経営者） 税理士（所長）	受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き 取引先の様子
			・衣料、非衣料ともに前年より受注状況がやや良いとみている。 ・観光業者にヒアリングしたところ、北陸新幹線開業後の予約は好調である。海外からの予約ならびに国内からの予約も同様に良いとのことであった。 ・同業者に情報を聞くと、少しずつ情報や動きが出てきているという意見が多かった。 ・客の様子を見ると、製造業も建設業も仕事の予定が結構しっかりと入っている。2～3月の売上も割と順調なところが多く見える。販売業も給料が上昇傾向である影響か、徐々に高級品の販売が増えてきている感じがある。数字に上がるのはもう少し先かもしれないが、先行きの見通しが明るくなっているというのがある。いろいろな企業の社長の答えである。
	変わらない	繊維工業（経営者） 精密機械器具製造業（経営者） 建設業（経営者） 建設業（総務担当） 輸送業（配車担当） 輸送業（配車担当） 金融業（融資担当） 司法書士	受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き 受注価格や販売価格の動き 取引先の様子 受注量や販売量の動き 取引先の様子 取引先の様子
			・先物受注については分野別にバラツキがあり、すべて順調というわけではない。ユニフォーム関連は好調だが、スポーツ関連では期待を下回っている。 ・国内販売は顧客間の状況差は大きいものの、総量的には比較的堅調に推移している。海外販売は欧米とも増加基調にあるが、全体として良くなってきているというレベルではない。 ・昨年12月から今年の1月にかけては工期に追われていたが、今は3月末工期の工事も終わり、一息つける状況である。手持ちの仕事量はグッと減っているが、損益では3月末の完成工事高が増えるので1月や2月の月次決算より収益が改善される。 ・受注価格競争が緩和状態の地域と、競争激化の地域の二極化現象が起きており、受注環境に地域格差が生じている。 ・北陸新幹線効果があるとは感じられない。一部の業種は効果がみられるが、運送業としてみると物量増加は感じられない。 ・荷物が特に増えた感じもなく、例年通りの荷動きで推移している。 ・北陸新幹線の開業に向けて各種イベントの盛り上がりが見られる。飲食店なども人の入込が見られる。一方、地元百貨店では改装による影響でブランド品などに売上の伸び悩みもみられるなど強弱要因双方があると感じる。 ・年度末に向けて、会社の解散が非常に多い。一方で、新年度に向けて代表者の変更をし、次世代に事業承継ができた案件も多かった。
	やや悪くなっている	食料品製造業（役員） 一般機械器具製造業（総務担当）	それ以外 受注価格や販売価格の動き
			・為替の影響にて原材料価格が大幅に上がっている。旧在庫と新購入在庫との評価額を総平均法で求めているため、単価が徐々に上がってきている。この影響から、収益に影響が出ている。 ・北米市場の受注が伸び悩んでいる。
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-

(北陸)	やや良くなっている	求人情報誌制作会社(編集者)	求人数の動き	・北陸新幹線開業のおかげで求人数が伸びるかと思っていたが、想定していたほどではなかった。
		新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・3か月前と比べると求人数は増えている。ただ、前年同月比で見るとほぼ変わらない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・北陸新幹線の開業効果から、事業主の求人意欲が高くなっていると感じている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・医療分野が好調であり、設備投資に伴う受注が好調な企業もみられるほか、北陸新幹線の富山駅高架下にオープンした店舗の関連求人も目立ち始めているなど、幅広い分野からの求人がある。
	変わらない	人材派遣会社(役員)	求人数の動き	・安定した雇用情勢ではあるが、目立って人が活発に動いていない。派遣登録希望者及び需要件数が伸びない。
		人材派遣会社(社員)	雇用形態の様子	・建設、電気、IT関連などといった専門職の紹介予定派遣の依頼件数が増えている。
		新聞社[求人広告](役員)	求人数の動き	・3月の求人広告売上は、前年同月比75%程度であった。
		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・一部の事業所は良くなっているとの声も聞かれるが、原材料費や燃料費の高騰などで忙しいが利益がないという事業所の声も多いため、全体として変わらないと感じる。
		民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・北陸新幹線が開業した。にぎわった所は限定的で、特に人材派遣や紹介が増えたわけではない。雇用の動向に変化をもたらすのはこれから先であろう。
		学校[大学](就職担当)	それ以外	・3月に学内合同企業説明会を開催したが、参加企業数が昨年度の1.4倍に増えて、参加学生の就職活動も活発化している。
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	